



全消協ニュース

全国消防職員協議会発行／編集責任者 山崎 均／東京都千代田区六番町1 自治労会館／☎ (03) 3263-0271
ホームページアドレス／<http://www.jichiro.gr.jp/zensyokyo/index.html>

民主党消防議員懇が総会

赤松広隆 会長 高嶋良充 事務局長 新役員体制など決める

3月12日、民主党の消防政策議員懇談会総会が開かれ、全消協から迫大助会長と山崎均事務局長が、自治労からは植本真砂子副委員長、事務局長に高嶋良充が出席した。(4面に関連記事)



●経過を報告する高嶋事務局長 (左)

院議員(自治労組織内協力国会議員)ら新役員を選出。会員数は96人となったことが報告された(2008年4月末現在102人)。

自治労を代表し植本真砂子副委員長が、全消協からは迫大助会長があいさつ。迫会長は「全消協は消防を愛する者たちの集まり。地域における市民の安心・安全を守る消防行政の発展のために活動している。その活動を前進させるためにこそ、団結権が欲しい。民主党の力をお借りし、私たちの声を国会に反映させていきたい」と訴えた。

自治労の植本副委員長は、公務員制度改革の動向に言及し、「労働基本権の付与に関する議論では、消防職員への団結権について賛否両論の併記にとどめられた。今後の法案化と国会審議の過程で、前進が図れるよう、民主党のご奮闘を期待している」と述べた。

続いて山崎均事務局長が、当面する消防行政の課題と全消協の求める政策要求を説明。消防職員の団結権獲得と職場の民主化、消防行政の広域化に対応した消防サービスの実現のための政策活動の重要性を訴えた。

また総会には総務省消防庁からも幹部職員が出席し、消防行政の広域化や消防団の団員募集活動の強化など、行政当局の重点課題を説明。参議院第1党である民主党への気遣いぶりをうかがわせた。

●迫会長があいさつ



先日、テレビを見ていたら「昭和の美人のトップ10」に私の実らぬ恋・永遠の恋人・夏目雅子様がランクインしていた。デビュー当時からの大ファンで、「鬼龍院花子の生涯」を観た後では「雅子のためなら死ぬ」と思ったくらいで。さて、昨年、行政改革推進本部専門調査会で公務員の労働基本権問題について検討されたが消防職員には団結権が付与されないという結果に。団結権を付与するべきでないという委員の中には「消防職員に団結権を与えることにより、主権者である国民にメリットがあるとは思えない」という発言も。いつまで俺たちの権利と命を軽視するんだと怒りを覚えずにはいられない。

山崎 均
(全消協 事務局長)

愛を胸に困難を乗り越えよう

第37回労働講座 in ヨコハマ

4月16日から18日の間、本年度2回目の労働講座が横浜市で開催され、全国から男女50人が参加して消防職場の諸問題について研修を深めた。

講座初日の開講式では、全消協を代表して伊藤薫副会長が歓迎のあいさつと、本講座の目的や消防職場の課題について説明を行った。伊藤副会長は「現在進められている消防の広域化については、会員の学習と各種調査への取り組みが重要であり、消防職場を守るための具体的な方法を学び、この講座での仲間作りを積極的に行って欲しい」と強調した。

その後「消防財政と消防の広域化」を担当幹事が、具体的な事例を交えて講演し、夜は各班に分かれて自由に食事をとりながら交流を深めた。

2日目は、少しずつ全国的に女性の職員採用が増えていることを背景とした『男女共同参画』、消防職場の『快適職場づくり』、また生活を守るための『賃金・労働条件・年金』を各テーマとした講座が進められ、夕食は横浜中華街へ水上バスで移動し、全体交流会で懇親をはかった。

最終日は、『組織拡大・強化』への取り組みについて、各班で活発な討論や意見の交換を行った。最後に、斎藤英之幹事（北信ブロッコ）からの「現在消防の広域化が進められ、さまざまな困難があるが、消防への皆さんの熱い愛情を忘れないように。愛を胸に持てば困難ななかでも希望が見えてくるはず」との提言を受け、講座を終えた。

座が進められ、夕食は横浜中華街へ水上バスで移動し、全体交流会で懇親をはかった。



●女性の参加者は4人。定着と拡大が求められている。

地域医療の改革議論に 救急現場の視点を

連合神奈川
シンポジウム

連合神奈川は4月16日、横浜市内において「かながわ地域医療シンポジウム」を開催し、全消協も参加した。このシンポジウムでは、全消協の小田規親幹事（関東甲信ブロッコ・横浜消防）が発言し、救急現場の視点から見た地域医療のあり方への意見を述べた。

このシンポジウムでは、医療制度改革と県の策定する地域医療計画、医師の不足、政治問題化している後期高齢者医療制度の問題や介護の問題などを、医師や行政、NPO・市民など様々な立場から検討し、安心を保障できる地域医療を考えることを目的としたもの。

の。コーディネーターを朝日俊弘さん（元参議院議員・自治労出身）が務めた。

会場から発言に立った小田さんは「私は救急救命士。老人の入所施設などのなかには、数日間熱がある、食欲がないなど、軽い症状なのに救急車を呼ぶところがある。その程度で救急車を呼んでくれるなど言えば、搬送するスタッフがいらない、との返答。本当に助けるべき命を救うためにも、介護の人材確保と施設認可の規制強化などが必要だ」と提起した。

医師不足で救急受け入れの可能な病院が減少する一方、安易な救急利用の問題も指摘される今日、地域に救急現場の視点から問題提起し連携して取り組むことが求められている。

●地域医療を考えるため、行政、病院・医師、介護サービス利用者など、様々な立場からのアプローチが必要。発言する小田さん（左）。



日本は消防職員に団結権を与えよ

PSI書記長がILOで訴え

PSIのピーター・ウォルドフ書記長は6月12日、ILO（国際労働機関）の全体総会で演説し、日本政府が消防職員の団結権を否認していることを強く非難し、ILOの勧告を受け入れるよう訴えた。

ピーター・ウォルドフ書記長の演説要旨は次の通り。

「非常に多くの政府が公共部門の労働者の労働基本権を否定し続けていることをPSIは非常に残念に思います。皆様に強く要請したいのは、公共サービスが団結権と団体交渉権によって手を携え良く機能している例から学ぶことです。団体協約は脅威ではなく、実

際には質の高い公共サービスの発展を強化・支援するものであるということを示す良い例がたくさんあります。日本はOECD諸国で唯一、ILO87号条約および98号条約を批准していません。消防職員の団結権を否定しています。43年以上、日本政府は結社の自由委員会の勧告を繰り返し無視し続けています。日本政府は、ILOの普

遍的な基準に甚だしく対抗しているのです」。

消防ネットワークの設立へ

PSIは10月2日―3日に韓国で消防ネットワークを設立し、権利が抑圧されている消防職員の運動の強化をめざす。全消協もこのネットワークに参加する予定だ。



●ピーター・ウォルドフPSI書記長

全消協の迫大助会長は「PSI書記長の演説は全消協のPSI加盟を受けたもので、連合自治労をはじめとする日本のPSI加盟組合の支援に感謝している。今後も消防ネットワークへの参加をその契機に自立的な運動を改めて強めたい」と語った。

沖縄県・久米島町消防職員協議会

住民第一の消防行政のため 一致団結し邁進します

いちやりばちょうで



(久米島町消防職員協議会)

皆様の指導・鞭撻を賜りながらがんばっていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今後、協議会活動を通じて、会員が一致団結し「住民第一の消防行政サービスの確立」をめざし、活動に邁進する所存です。

志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

初めまして。2007年11月23日に沖縄県で13番目に誕生しました久米島町消防職員協議会です。まず、この場をお借りして、結成にあたり多大なご尽力をいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。さて、久米島町は沖縄本島の西約100kmに位置し、久米島、奥武島、オハ島の有人島と無人島で米軍の射撃場である島島、徳島の西方にあり、県内唯一の活火山島である硫黄島島の5つの島で構成されています。

また、消防組織内にも旧態依然とした体質が残る、離島という閉ざされた環境もあり、必要な情報を得ることも難しい状況に打開策も見出せないまま通常業務をこなす日々を送っていました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等をめざし21人の有志で結成に至りました。

消防職員の声を国会へ

民主党消防政策議員懇

2008 年 4 月末現在

衆議院			
名 前	部屋番号	所属総支部	
横路孝弘	2-516	北海道1区	
鉢呂吉雄	1-207	北海道4区	
佐々木隆博	2-325	北海道6区	
仲野博子	1-237	北海道7区	
逢坂誠二	1-740	北海道8区	
鳩山由紀夫	1-334	北海道9区	
松木謙公	1-306	北海道12区	
金田誠一	2-622	北海道8区	
寺田学	1-704	秋田1区	
近藤洋介	2-605	山形2区	
玄葉光一郎	1-522	福島3区	
渡部恒三	2-202	福島4区	
大畠章宏	1-231	茨城5区	
福田昭夫	1-739	栃木2区	
田嶋要	1-411	千葉1区	
野田佳彦	1-441	千葉4区	
細川律夫	2-513	埼玉3区	
神風英男	2-227	埼玉4区	
枝野幸男	2-538	埼玉5区	
大島敦	2-310	埼玉6区	
加藤公一	2-707	東京20区	
池田元久	1-631	神奈川6区	
岩國哲人	1-706	神奈川8区	
笠浩史	1-420	神奈川9区	
小沢鋭仁	2-641	山梨1区	
後藤斎	1-737	山梨3区	
西村智奈美	2-404	新潟1区	
鷲尾英一郎	2-323	新潟2区	
菊田真紀子	2-524	新潟4区	
筒井信隆	2-505	新潟6区	
渡辺周	2-327	静岡6区	
古川元久	2-328	愛知2区	
牧義夫	1-433	愛知4区	
赤松広隆	2-403	愛知5区	
岡本充功	1-622	愛知9区	
中井治	1-533	三重1区	
中川正春	1-428	三重2区	
園田康博	1-623	岐阜3区	
川端達夫	2-421	滋賀1区	
田嶋一成	2-418	滋賀2区	
三日月大造	2-419	滋賀3区	
奥村展三	2-515	滋賀4区	
前原誠司	1-601	京都2区	
泉健太	2-205	京都3区	
山井和則	1-240	京都6区	
藤村修	2-324	大阪7区	
山口壯	2-521	兵庫12区	
土肥隆一	1-738	兵庫3区	
柚木道義	1-301	岡山4区	
平岡秀夫	2-341	山口2区	
仙谷由人	1-235	徳島1区	
高井美穂	1-234	徳島2区	
小川淳也	2-621	香川1区	
松本龍	2-616	福岡1区	
楠田大蔵	1-511	福岡5区	
横光克彦	2-233	大分3区	
川内博史	2-637	鹿児島1区	

参議院			
名 前	部屋番号	選挙区	
峰崎直樹	703	北海道	
田名部匡省	504	青森	
谷博之	331	栃木	
築瀬進	334	栃木	
藤田幸久	205	茨城	
郡司彰	626	茨城	
富岡由紀夫	615	群馬	
加賀谷健	539	千葉	
千葉景子	412	神奈川	
大河原雅子	309	東京	
小川敏夫	628	東京	
北澤俊美	510	長野	
羽田雄一郎	525	長野	
榛葉賀津也	742	静岡	
木俣佳丈	317	愛知	
谷岡郁子	406	愛知	
芝博一	230	三重	
高橋千秋	540	三重	
山下八洲夫	218	岐阜	
中村哲治	201	奈良	
徳永久志	619	滋賀	
林久美子	639	滋賀	
福山哲郎	614	京都	
水岡俊一	502	兵庫	
辻泰弘	402	兵庫	
佐藤公治	305	広島	
武内則男	434	高知	
岩本司	231	福岡	
大久保勉	432	福岡	
犬塚直史	318	長崎	
松野信夫	721	熊本	
相原久美子	621	比	
家西悟	715	比	
石井一	242	比	
大島九州男	320	比	
神本美恵子	421	比	
高嶋良充	428	比	
轟木利治	518	比	
那谷屋正義	216	比	
白眞勲	329	比	
藤末健三	637	比	
藤谷光信	716	比	
松岡徹	734	比	
横峯良郎	210	比	
吉川沙織	340	比	

副会長

副会長

副会長

幹事

副会長

幹事

事務局長

45

民主党消防行政政策議員懇談会が新たな役員体制のもとでスタートした。3月12日の総会で確認された活動方針では「消防職員の団結権の確立と職場環境の改善が求められる」とし、政策課題の研究のため全消協と連携し「市民のための消防」「いのちを守る救急救命」の実現をめざすと述べている。全国の消防職員の声を、民主党消防議員懇に寄せていこう。



●議員懇会長
赤松広隆衆議院議員



●議員懇事務局長
高嶋良充参議院議員